

第46号

会報

〒135-0016 江東区東陽4-11-38 平成30年1月1日発行(年1回発行) 編集・発行人 星 俊二



【写真提供：安原 範夫様】

富士山と桜えびの天日干し(静岡県富士川河川敷)

目次

| | |
|----------------------------------|-------|
| 新年のご挨拶【東京林業土木協会会長 小野 徹】 | 1 |
| 年頭ご挨拶【関東森林管理局東京事務所長 平野均一郎】 | 2 |
| 平成29年度協会活動報告 | |
| ・東京林業土木協会定時総会及び治山・林道工事コンクール受賞報告会 | 3 |
| ・治山・林道工事コンクール表彰式 | 4 |
| ・林土連「技術現地研修会」(東京会場)を開催 | 5 |
| ・三鷹大社で安全祈願祭を実施 | 6 |
| ・積算ソフト伝達研修会を開催 | 6 |
| ・森林土木施工管理講習会を開催 | 6 |
| ・「治山・林道事業改善要望意見交換会」を開催 | 7 |
| ・次世代の会「研修会を開催」 | 7 |
| ・小笠原国有林・父島のサンクチュアリー整備事業 | 7 |
| ・天城山獣害復旧祈念植樹 | 8 |
| ・「林業専用道現地検討会」に出席 | 9 |
| ・林土連「技術担当者連絡協議会」に出席 | 9 |
| ・林土連「コンプライアンス講習会・労働災害防止研修会」を受講 | 9 |
| ・平成29年「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査」 | 10 |
| ・平成29年度 技術安全会議及び安全パトロール | 11 |
| ・平成29年度 ボランティア活動実施状況 | 12 |
| ・第20回「森林は友達！作文コンクール」を開催 | 13～15 |



新年のご挨拶

会長 小野徹

新春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、皆様方の益々のご清栄を衷心よりご祈念申し上げます。

◇ ◇ ◇

さて、「協会設立45周年・記念事業」の一環として、平成9年度から始めた『森林は友達！作文コンクール』が、平成29年に第20回の節目を迎え、高く評価されたことから、3月3日の総会の席で、今井林野庁長官から感謝状を賜った。

そのお礼を申し上げていた懇談会の席で、「作文コンクールでの表彰は、まことに光榮ですが、ご褒美に、子どもたちに森林を育む実体験をさせ、それぞれの地域にもアピールする場として、東京協会管内で、植樹祭を復活できないものでしようか。ついては、森林王国ドイツのバ

イエルン州から、日本で最初に、植樹の指導を受けたとされる天城山はいかがでしようか」と、植樹祭復活が持論で、伊豆森林管理署の工事でも一緒に河津副会長とお願いしたところ、すぐ関東森林管理局長、伊豆森管署長を通じて、伊豆市の全面的な賛意も得られたことから、とんとん拍子に話が進み、6月23日（金）に実現されることになった。

植樹の目的としては、前にせっかく植えたものが獣害にやられてしまつた箇所を、しっかりと植林しなおそうと、『天城山獣害復旧祈念植樹』とし、「シカ柵」を巡らせた中に、林野庁長官や関東森管局長を始め、静岡県副知事や東部、賀茂の両農林事務所長、伊豆市長、河津町長、それに、肝心の将来を担う幼稚園児やその父母などに、「無花粉スギ」を植えてもらうなど、植樹の趣旨を踏まえた賑やかなイベントとなつた。

また地元の新聞にも大きく取り上げられ、評価を得たことは、天皇・

樹の指導を受けたとされる天城山はいかがでしようか」と、植樹祭復活が持論で、伊豆森林管理署の工事でも一緒に河津副会長とお願いしたところ、すぐ関東森林管理局長、伊豆森管署長を通じて、伊豆市の全面的な賛意も得られたことから、とんとん拍子に話が進み、6月23日（金）に実現されることになった。

植樹の目的としては、前にせっかく植えたものが獣害にやられてしまつた箇所を、しっかりと植林しなおそうと、『天城山獣害復旧祈念植樹』とし、「シカ柵」を巡らせた中に、林野庁長官や関東森管局長を始め、静岡県副知事や東部、賀茂の両農林事務所長、伊豆市長、河津町長、それに、肝心の将来を担う幼稚園児やその父母などに、「無花粉スギ」を植えてもらうなど、植樹の趣旨を踏まえた賑やかなイベントとなつた。

さらに、最近の集中豪雨は、地球温暖化の影響で、年々激しさを増してきており、昨年は九州北部や秋田などで、大災害をもたらしたこと

は、記憶に新しい。

特に由々しきことは、山崩れにより流出したスギ、ヒノキが、橋脚にひつかかって、流れをせき止め、あたりを水浸しにするなどで、悪者扱いされているが、逆に、林地保全・治山の重要性は、社会的に再認識されてきているような気もする。

獣害対策を始め、間伐が行き届かない弱々しい森林や、伐り取つても山に放置されたままの伐採木を何とかしようと、「森林環境税」の導入

も最終段階に入っていると聞く。

こうした中で、協会としては、「森林は友達！作文コンクール」を通じて、さらに幅広く、多くの子供たちに、「治山・治水を含めた森林の果たす役割」や、それを脅かす「獣害対策」などの理解を高めてもらえるよう努力するとともに、皆様には「森林環境税」実現へ、熱い期待の声を上げていただきますようお願いして、新年のご挨拶とします。

理 事 会





年頭ご挨拶

関東森林管理局 東京事務所長

平野均一郎

平成30年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

東京林業土木協会会員の皆様には、常日頃から国有林野事業の推進にあたり、格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は「記録的短時間大雨情報」「数十年に一度」「過去に経験したことのない」といった言葉を何度も耳にしました。7月の九州北部豪雨では山腹崩壊とともに流出した流木が被害の拡大をもたらし、秋田では7月、8月と2度にわたり大雨によって雄物川が氾濫し「あきたこまち」の水田などを水浸しにしてしまいました。また、10月には2週連続で台風が日本列島を襲い、各地に災害の爪痕を残しました。最近の豪雨や台風の規模・発生頻度が地球温暖化の影響なのであれば、今後もこうした気象を前提として森林の整備・保全に取り組んでいかなければなりません。

一方、林業・木材産業に目を転じると、木材自給率は6年連続で上昇し35%に手が届くまでになるなど、「林業の成長産業化」の実現に向け、階段を着実に上っている状況であり、まとまった人工林資源を有し森林の整備を通じて計画的に木材供給を行う国有林野事業の特徴を活かして、その役割をさらに果たしていくことが求められています。

こうしたなかで、関東森林管理局といたしましては、管内のとりわけ静岡・山梨などの地域は脆弱な地質で急傾斜地が多く降水量も少なくなっていることから、地域の要請も踏まえながら治山事業の重点的・計画的な実施を通じて、引き続き林地の保全と山地災害の防止に努めて参ります。また、昨年の秋に林野庁から「流木災害等に対する治山対策検討チークム」中間取りまとめが発表され、これを踏まえた、流木を捕捉するスリットダムの設置、根系の発達を促

す間伐などの「流木対策」も実施していく必要があります。

「林業の成長産業化」の実現に向けては、施業の低コスト化のために取り組んでいる植栽本数や下刈回数の見直し、列状間伐について民有林へ積極的に普及していくとともに、

主伐・再造林を実施する場合は伐採から地拵え・植栽までを一貫して作業するシステムにより行うことを基本として更なる低コスト化を目指します。また、こうした森林の整備を通じて産出される素材についてはシステム販売(木材の需要拡大や加工・流通の合理化に取り組む事業者との協定に基づく販売)により川下への安定供給に取り組んで参ります。そしてこれらの事業の前提となる林道の整備を計画的かつ着実に進めていく考えです。

このように関東森林管理局が現下の課題に的確に対応していくためには、林業土木事業の推進が不可欠で

あり、今後とも皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げる次第です。

最後になりましたが、東京林業土木協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。

平成30年 元旦



理事会でご挨拶される平野所長

平成29年度協会活動報告

東京林業土木協会定時総会及び治山・林道工事コンクール受賞報告会

平成29年度の定時総会は、3月3日ホテルイースト21東京で開催しました。

定時総会では、小野会長の挨拶、来賓として林土連菊池専務理事から祝辞をいただき、引き続き議事に入り、平成29年度事業報告、決算報告及び会計監査報告、公益目的支出計画実施報告が承認され、続いて平成30年度事業計画を説明しました。

その後、開催された「治山・林道工事コンクール受賞報告会」では、来賓として、林野庁長官今井様、関東森林管理局長漆原様、森林整備部長石橋様、治山課長岡本様、森林整備課長山内様、東京事務所副所長原田様、林土連専務理事菊池様が出席されました。

治山・林道工事コンクール受賞報告会に先立ち、平成10年度から開催している「森林は友達！作文コンクール」が、平成29年度で記念すべき第20回を達成し、当日、今井林野庁長官から森林環境教育の推進に寄与したとして、感謝状の贈呈があり小野会長が協会代表として受賞しました。

また、2月23日林土連定時総会で林野庁長官感謝状を受賞された（株）白鳥建設 白鳥勝平様、林野庁治山・林道工事コンクールで長官賞を受賞された小野建設（株）小野徹様、河津建設 河津市元様、林土連会長表彰を受賞された中村建設（株）竹村 寧様、（株）中村組中村紘八様に会長から記念品の贈呈がありました。

また、林野庁長官賞及び関東森林管理局長賞の受賞工事を担当した現場代理人、主任技術者にも記念品が贈られました。



定時総会（小野会長挨拶）



感謝状を受賞
(今井長官から小野会長に)

林野庁長官挨拶

感謝状授与式及び治山・林道工事コンクール受賞報告会にあたり一言お祝い申し上げます。

はじめに、本日、東京林業土木協会の平成二十九年度定時総会が盛大に開催されましたことを、心よりお慶び申しあげます。

東京林業土木協会の皆様方には、常日頃から国有林における治山・森林整備事業の推進はもとより、森林・林業行政一般にわたり、格別の御支援、御協力を賜つておられますことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

本年も、去る二月十七日に東京林業土木協会主催の「森は友達！作文コンクール」が開催され、表彰者が決定されましたと聞いておりますが、今年は実に二十年目の記念すべきコンクールであったとのことです。このコンクールには、これまでに約二万人の小学生が参加され、森林環境教育の推進に大きく寄与いたいたものと、これまでの東京林業土木協会のご尽力に敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げる次第です。

また、二月二十一日には、林土連の定時総会において、長年にわたり治山・林道工事の発展に努力してこられた、株式会社白鳥建設様に対し、私から感謝状を授与させていただきます。

また、平成二十八年度治山・林道工事コンクールにおいて、小野建設株式会社様、河津建設株式会社様に對しまして、林野庁長官賞を授与させて頂きましたが、この場をお借りして、改めてお祝いと感謝を申し上げます。

林野庁では、林業成長産業化の実現という安堵感をもたらすため、森林・林業業界一体となつて取り組んでおり、平成二十七年木材自給率が三十二%まで上昇するなど、数字的には国産材の利用が勢いを増していますが、こうした林業成長産業化の流れを、より力強いものとするためには、何といつても林道等の生産基盤の整備が不可欠であります。

林野庁といたしましても、関係予算の確保に努めるとともに、現場の実情を的確に把握した上で、皆様方と連携し、地域の実情に応じた工夫を凝らしながら取り組んで参る所存ですので、今後、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、東京林業土木協会及び会員の皆様方のますますの御発展を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

平成二十九年三月三日

林野庁長官 今井敏



治山・林道工事コンクール受賞報告会
(受賞者と来賓の皆様)

■ 治山・林道工事コンクール表彰式

3月3日定時総会当日、東京事務所において工事コンクールの関東森林管理局長賞表彰式が行われ、漆原関東森林管理局長から表彰状が授与されました。当協会会員から治山部門で4件、林道部門で1件が表彰されました。

また、2月23日農林水産省において林野庁長官賞を受賞された、小野建設（株）現場代理人（監理技術者兼任）向笠様、同じく河津建設（株）現場代理人石井様、主任技術者佐野様に関東森林管理局長賞が授与されました。



局長挨拶（東京事務所に於いて）



受賞者及び正副会長（前列中央漆原局長）



長官賞を受賞される小野社長



長官賞を受賞される河津社長



林野庁長官賞受賞工事
(治山部門) 小野建設（株）
「須走地区（立山5）復旧治山工事」



林野庁長官賞受賞工事
(林道部門) 河津建設（株）
「水の木幹線林道改良工事」

関東森林管理局 東京事務所

治山・林道部門を表彰

林野庁関東森林管理局は3月20日、同長賞に選出された治山・林道部門4件、林道改良部門2件の受賞者として、関東森林管理局内での開催式を行った。受賞者の代表者3名（小野建設社長、河津建設社長、佐野建設社長）が登壇し、各々の受賞理由や施工内容について紹介された。

関東森林管理局は、2015年度に完了した治山工事95件の中から、25件の中から選ばれた。その他の受賞事業には、治山部門では「水の木幹線林道改良工事」、林道部門では「水の木幹線林道改良工事」が選ばれている。

受賞式では、関東森林管理局長より各社長へ賞状と記念品が贈呈された。また、関東森林管理局長より、各社長へ感謝状が贈呈された。

受賞式では、関東森林管理局長より各社長へ賞状と記念品が贈呈された。また、関東森林管理局長より、各社長へ感謝状が贈呈された。

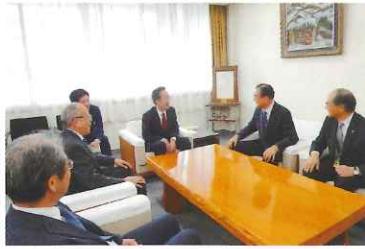
■ 林土連「技術現地研修会」（東京会場）を開催

平成29年度の林土連技術現地研修会は、東京協会が当番協会として9月27日～28日東京都江東区において開催されました。

この研修会は、全国各協会持ち回り当番で開催されており、東京協会では11年振りに開催するものです。今回の開催スケジュールは当協会理事会と総務委員会が中心になり計画検討を進めました。

初日は室内研修で、関東森林管理局から漆原局長、馬場計画保全部長、山名治山課長、生方森林整備課長の出席を頂き開催されました。

研修会の開催にあたり、林土連新谷副会長が挨拶、その後漆原局長から来賓挨拶、東京協会小野会長から歓迎の挨拶があり馬場森林保全部長から関東森林管理局の概要の説明があり、治山・林道両課長からは「関東森林管理局（東京事務所）管内では過去に山地災害が多く発生し、民有林直轄治山事業が行われてきたこと」また、東日本大震災のその後の復興状況などの概要説明がありました。



（局長室に於いて）



漆原局長挨拶



小野会長歓迎挨拶

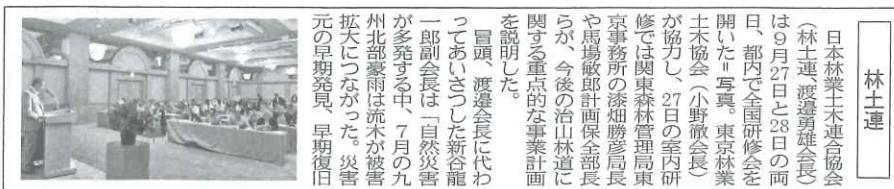


室内研修

翌日は「東京オリ・パラ施設建設現場見学会」として、江東区に建設整備されるオリ・パラ会場9箇所を現地見学しました。建設箇所は、基礎工事がスタートした箇所が半分、残り半分はこれから工事を進めるという状況で車窓から見学することとしました。2年後の完成が待たれるところです。また、話題の豊洲市場も見学することとしました。

最後に、新木場の「木材会館」において講演会を開催しました。講師は「（株）吉野家ホールディングス会長安部修仁」氏から、「吉野家V字回復の軌跡～逆境の経営学とリーダーシップ」と題し、経営者としての苦悩や経験を踏まえた力強い話がありました。

両日とも何とか天候がもち、全国から会員を迎える形態の交流会を含め有意義な研修会となりました。



記念撮影



講演会（安部修仁先生）

都内で全国研修会開く

治山林道の事業計画説明

など林業土木が果たす役割は一段と重要性を増している」とし、安全対策について吉野家ホールディングスの安部修仁会長によると、28日は東京オリ・パラ施設の現場を視察した他、木材会館に場所を移して吉野家ホールディングスの安部修仁会長による講演聞いた。

■ 三島大社で安全祈願祭を実施



安全祈願（静岡県三島大社）

■ 積算ソフト伝達研修会を開催

積算ソフト伝達研修会は、平成29年5月24日「ホテルイースト21東京」で会員18名が出席され開催しました。

この研修会は、林土連主催で5月10日に永田町ビルに於いて開催した林業土木工事積算ソフト研修会の伝達研修として、清水建設興業（株）清水社長が講師となり開催したものです。



東京林業土木協会（小野会長）は11日、林野人参加する中、三鷹40名と開催した。関係者約40名と開催された。

東京林業土木協会（小野会長）は11日、林野人参加する中、三鷹40名と開催された。

安全祈願祭を開催

した後、「子どもたちに山に親しんでもらうため、植樹祭を行なうこととした。」「森林もりは、なきまことに敬意を表する」と話した。

平野会長は、「安全祈願祭を復活させることで、地元のボランティア活動を強化する」と語った。

友達「作文コンクール」を同様、林業に対する関心を深めてもらう機会となる期待している」と語った。

した後、「子どもたちに山に親しんでもらうため、植樹祭を行なうこととした。」「森林もりは、なきまことに敬意を表する」と話した。

平野会長は、「安全祈願祭を復活させることで、地元のボランティア活動を強化する」と語った。

友達「作文コンクール」を同様、林業に対する関心を深めてもらう機会となる期待している」と語った。



積算ソフト伝達研修会

■ 森林土木施工管理講習会を開催

平成29年度森林土木施工管理講習会は、7月26日東京事務所副所長、治山・林道担当官に講師を依頼し「林業土木事業の技術の向上並びに労働災害の防止」の講習会を、現場工事を担当している主任技術者・現場代理人等60名が参加しホテルイースト21東京で開催しました。

開催に当たって、譲原技術安全委員長から、「日頃より治山・林道工事の現場責任者として、また、経営指導者として日々ご尽力されていることに対してのお礼と自主施工管理、品質管理、安全管理の更なる向上に向けての勉強会」である旨の挨拶がありました。続いて東京事務所小松副所長からは「東京事務所管内の林道・治山事業の現場第一線で監督指導される皆さんに敬意を表すると共に、本日の研修会が技術研鑽の研修会となるよう期待します」と挨拶がありました。

講義は、片柳上席技術指導官（治山）から、治山事業の目的・定義・根拠法や保安林制度の概要・工事記録写真の撮影の留意点などの説明を頂きました。また、昨年度の各工事毎に良かった点や指摘事項などの指導を受けました。小酒井技術指導官（路網）からは、林道事業における問題点等をQ&Aで、また林業専用道作設指針の運用について・工事支障木の取り扱い等についてもご指導を頂きました。

最後に、小松副所長から国有林野事業における労働災害発生と防止対策についての講義を頂きました。

今後、技術向上及び労働災害の防止に向けて更に努力する決意をした講習会でした。

この講習会の最大の目的は、自主施工管理の向上、品質管理の確保及び安全管理の推進に資する目的をもって開催するもので、東京営林局が品川区上大崎に所在している時から40年以上続いている歴史を重ねた講習会です。



挨拶（譲原技術安全委員長）



講習会の状況

東京林業土木協会（小野会長）は26日、都内にて「法や安施工の基礎知識」として開催された。東京事務所管内の林道・治山事業に従事する会員60名が出席した。林野所は、「小さい発掘機」で運営する「林道施工管理」を実施した。林野所は、「林道施工管理」を実施した。林野所は、「林道施工管理」を実施した。林野所は、「林道施工管理」を実施した。林野所は、「林道施工管理」を実施した。

東京事務所管内の林道・治山事業に従事する会員60名が出席した。林野所は、「林道施工管理」を実施した。林野所は、「林道施工管理」を実施した。林野所は、「林道施工管理」を実施した。林野所は、「林道施工管理」を実施した。林野所は、「林道施工管理」を実施した。

■「治山・林道事業改善要望意見交換会」を開催

技術安全委員会では、各委員からの改善要望事項を取りまとめ、10月3日東京事務所片柳上席技術指導官、小酒井技術指導官を招き意見交換会を開催しました。

主な要望事項は

- ①林道新設に伴う支障木の取扱いについて
- ②指定仮設と任意仮設について
- ③資材価格及び資材小運搬経費について
- ④構造物の埋戻しについて
- ⑤残土の処理について
- ⑥設計調査（施工可能な設計）について
- ⑦入札結果の早期公表について

など、多くの課題について工事を進めるに当たっての問題点等を説明し、有意義な意見交換会となりました。



技術安全委員による意見交換会

■ 次世代の会「研修会を開催」

次世代の会（次世代を担う協会会員企業の役員等の会）では、9月29日静岡市内において、治山事業技術研修会を開催しました。当日は、（株）白鳥建設 顧問荒井様が講師となり、会員の資質を高めるための研修として開催しました。



研修会

■ 小笠原国有林・父島のサンクチュアリー整備事業

平成15年4月小笠原の固有種であり絶滅危惧種であるアカガシラカラスバトの生息環境を保全整備するため、国有林・父島で国が実施するサンクチュアリー整備事業に、当協会発足50周年を記念事業として支援し13年が過ぎました。

当該箇所は「東平アカガシラサンクチュアリーの森」の名称で、小笠原総合事務所長と協定書を締結し、アカギの伐倒処理・歩道整備・看板・樹名板の設置等の協力をしています。



路面の整備



歩道の清掃

■ 天城山獣害復旧祈念植樹

伊豆の国有林では、ニホンジカによる食害が深刻化していることを受け、平成29年6月23日伊豆市湯ヶ島の国有林において「天城山獣害復旧祈念植樹」が開催されました。

開催に当たっては、実行委員会を組織し実行委員長に伊豆市長、実行委員に田方森林組合、伊豆森林組合、伊豆森林管理署、東京林業土木協会で構成し、猟友会やガイドクラブなどの関係団体、NPO法人森のようちえん・太陽と緑の風クラブの子供たち、来賓、関係者約140人が参加しました。

当日は晴天に恵まれ林野庁長官、関東森林管理局長の御臨席を頂き、今井長官からは「健全な森は水をため、土砂災害や温暖化を防ぐなど多くの機能役割を果たします。今日は皆さんと共に良い汗を流したい」と挨拶されました。

また、小野会長は「子供たちには山に親しんでもらい、林業に対する関心を深めてもらう機会になれば、また、これからもみんなで天城山を守っていきたい」と挨拶された。当協会からも、地元会員各社が現地の事前準備や当日対応など、お手伝いとして参加しました。

なお、同地区は鹿の被害が多いため、防護柵により被害防止を図ると共に、植樹したのは通常のスギと比べ花粉が少ない、少花粉スギのコンテナ苗を植樹しました。

伊豆半島には約3万頭のニホンジカが生息しているといわれ、年間数千頭捕獲しているが総数は微増傾向だといわれています。



NPO法人 森のようちえんの皆さん



祈念植樹風景



小野会長・河津副会長



参加者による記念撮影

■「林業専用道現地検討会」に出席

森林管理局署職員と関係事業団体を対象とした林業専用道現地検討会を下記のとおり開催され、当協会から地元会員が出席しました。

- ・2月7日 茨城森林管理署 熊ノ倉林業専用道
(局署職員 27名、関係事業団体 13名)
- ・2月14日 天竜森林管理署 濑尻白倉林業専用道
(局署職員 23名、関係事業団体 17名)



茨城署管内現地検討会

林業専用道として、開設から5年が経過し、専用道としての課題や工事支障木の扱い、監督職員と受注者との意思疎通などについて意見交換が行われ、有意義な現地検討会となりました。



天竜署管内現地検討会

■林土連「技術担当者連絡協議会」に出席

11月7日日本教育会館において、技術担当者連絡協議会が林土連主催で開催されました。全国協会から43名が参加し、林野庁からは乾企画官、澤井・藤原森林土木専門官が出席され、林土連からは菊池専務・三谷事務局長が出席しました。



技術担当者会議

会議は堀川林土連技術安全委員長の挨拶のあと各協会からの改善要望事項が出され、林野庁からは回答、説明があり活発な意見交換がありました。当協会からは「現場が奥地で運搬費もかかり資材価格は見積もりを徴収して、現地着見積単価方式で積算を徹底してほしい」・「林道工事支障木は工事前年度に販売し翌年度早期発注をお願いしたい」・「ケーブルクレーン計上工事などは指定仮設とし、変更協議の対象としていただきたい」・「入札結果は早く公表するようお願いしたい」等を要望しました。

■林土連「コンプライアンス講習会・労働災害防止研修会」を受講

林土連主催で、11月8日日本教育会館において、コンプライアンス講習会及び労働災害防止研修会が開催されました。

当日は全国の協会から44名（各協会3～4名）が出席し「①事業者団体ガイドラインの概要」「②放射性物質の環境中の挙動とその影響」「③林内における放射性物質等の現状の情報提供」発注者綱紀保持の取り組みについて」と題し、公正取引委員会、国立研究開発法人及び林野庁の専門官からの講話がありました。当協会からはコンプライアンス委員4名が出席しました。



研修会

■ 平成29年「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査」

趣 旨

この調査は、林業土木事業で使用する木製構造物の経年変化を長期にわたり観察調査し、施設の構造、規格、施工性及び維持管理方法等を策定する基礎資料とするための調査です。

調査の企画、調査の実施、進行管理等の総括は（一社）日本林業土木連合協会が行い、具体的な現地調査、取りまとめの実施は各土木協会が実施します。

対象調査工作物は、木材の損傷状況、施設の機能発揮状況等について行い、調査結果は毎年一定期間に取りまとめ、選定した各施工箇所の評価は5年毎に現地調査を行います。

平成29年度は、設置から10年目の箇所（5年毎の第1回調査から2巡目）に当る、埼玉森林管理事務所管内の「南沢山治山工事」の中丸太積土留工の調査を7月27日実施しました。初回調査の前回と比較して、日照時間が短い箇所は常時湿潤で部材の劣化変色が進んでおり腐れが目立ち始めています。



平成19年完成状況



平成24年 5年経過後



平成29年 10年経過後
部材の劣化が進んでいる状況



■ 平成29年度 技術安全会議及び安全パトロール

| 実施日 | 地 区 | 実施場所 | 実施内容 | 参 加 者 |
|-------|-------|---------|----------------|------------------------|
| 4.11 | 協 会 | 三島市内 | 安全祈願・安全会議 | 東京事務所 ※会員 |
| 5.22 | 協 会 | 事 務 所 | 技術安全委員会 | ※技術安全委員 |
| 5.24 | 協 会 | 江 東 区 内 | 積算伝達研修会 | ※会員 |
| 6.13 | 山 梨 | 甲 府 市 内 | 安全祈願・会議 | 山梨所 ※地区会員 |
| 7.14 | 静岡西部 | 浜 松 市 内 | 技術安全会議 | ※地区会員 |
| 7.24 | 静岡東部 | 伊 豆 市 内 | 安全祈願・会議 | 伊豆署 ※地区会員 |
| 7.26 | 協 会 | 江 東 区 内 | 森林土木講習会 | 東京事務所 ※地区会員 |
| 7.28 | 大 井 川 | 大井川地区 | 安全祈願・会議 | 大井川センター・静岡労基署 ※地区会員 |
| 8.8 | 静岡中部 | 静 岡 市 内 | 技術安全会議 | 静岡署・静岡労基署 ※地区会員 |
| 8.22 | 山 梨 | 野呂川地区 | 安全パトロール・技術安全会議 | 山梨所・甲府労基署 ※地区会員 |
| 9.13 | 静岡西部 | 浜 松 市 内 | 安全パトロール・技術安全会議 | 天竜署・浜松労基署 ※地区会員 |
| 10.3 | 協 会 | 江 東 区 内 | 技術安全委員会 | ※技術安全委員 |
| 10.27 | 大 井 川 | 大井川地区 | 技術安全会議 | 大井川センター・島田労基署 ※地区会員 |
| 11.7 | 静岡東部 | 伊 豆 市 内 | 安全パトロール・技術安全会議 | 伊豆署・三島労基署 ※地区会員 |
| 11.22 | 茨 城 | 高 萩 市 | 安全パトロール・技術安全会議 | 茨城署・日立労基署 ※地区会員 |
| 11.28 | 協 会 | 事 務 所 | 技術安全委員会 | ※技術安全委員 |



(茨城地区)



(山梨地区)



(山梨地区)



(静岡東部地区)



(静岡東部地区)



(静岡中部地区)



(静岡西部地区)



(静岡西部地区)



(大井川地区)

■ 平成29年度 ボランティア活動実施状況

| 地区 | 場所 | 実施日 | 作業内容 |
|------|-------------------|-------------------------|---------------------------|
| 茨城 | 茨城署管内 | 10.17 | 林道沿線の草刈等 |
| 山梨 | 山梨所管内 | 11.20 | 林道沿線の草刈等 |
| 静岡東部 | 東京神奈川署管内 伊豆署管内 | 10.26 11.4 11.22 | 林道沿線ゴミ収集処分等 カブミラーの清掃等 |
| 静岡中部 | 静岡署管内 | 9.14 9.25 9.26 10.24 | ゴミ収集・林道沿線の草刈 カブミラーの清掃等 |
| 静岡西部 | 天竜署管内 | 9.30 | 林道沿線の草刈・崩土除去等 |
| 大井川 | 大井川治山セ管内 | 11.7 | 林道沿線の草刈・ゴミ収集処分等 |



(茨城地区)



(山梨地区)



(東京神奈川)



(静岡東部地区)



(静岡中部地区)

林道を清掃奉仕

活動を実施した写真。9月14日には静岡市葵区梅ヶ島の梅ヶ島国有林で木村組(静岡市)、9月25、26日には小山町北郷で白鳥建設(富士宮市)、10月24日には梅ヶ島国有林で白鳥建設(三島市)が清掃活動に参加した。作業は、草取り、カブミラー磨き、倒木掃除、道路補修を行った。

東京林業土木協会
静岡中部地区
安全対策委員会静岡中
部地区(幹事・白鳥勝平
・白鳥建設社長)は、9月
中旬から11月初旬にかけ
て林道清掃ボランティア



(静岡西部地区)



(大井川地区)

■ 第20回「森林は友達！作文コンクール」を開催

平成29年度の第20回「森林は友達！作文コンクール」は18団体（小学校17校、団体1）から1,522名の応募がありました。

各学校及び署等において第1次、第2次審査を行い、最終審査に残った作品を、平成29年1月30日東京事務所に於いて審査委員会を開催し、その結果下記の受賞者が決定し、2月17日江東区「ホテルイースト21東京」で表彰式を行いました。

- ①最優秀賞（林野庁長官） 1点
- ②優秀賞（東京事務所長） 5点
- ③ シ（東京林業土木協会会長） 6点
- ④努力賞（東京林業土木協会会長） 18点

「森林は友達！作文コンクール」は平成29年度記念すべき第20回を達成し、林野庁長官から森林環境教育の推進に寄与したとして、感謝状の贈呈があり3月3日の定時総会において受賞しました。

趣旨

これから未来を担う小学生（4年生～6年生）を対象に、森林や林業に対する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的として、平成10年度から開催しています。この作文コンクールは、旧東京分局管内1都6県に所在する森林管理署や高尾森林ふれあいセンター等で開催された「森林教室・体験林業」に参加した小学生を対象に作文を募集し、作文コンクール実行委員会（一般社団法人東京林業土木協会と関東森林管理局東京事務所とで構成）に於いて最終審査を行い、林野庁長官賞をはじめ毎回約30名の方々を表彰しています。

平成10年度から続けており今回までの参加者総数は22,009名です。



受賞記念品（箱根寄木細工）



応募記念品（参加賞）



最終審査委員会



表彰状授与（小野会長）



受賞者の皆さん

第20回森林は友達！作文コンクール受賞者一覧表

※五十音順

| 賞名 | 受賞者小学校名等 | 学年 | 受賞者名 | 作品名 | 授与者名 |
|---------------------|----------------|-----|--------------|--------------------|--------------------|
| 最優秀賞 (林野庁長官) | 八王子市立みなみ野君田小学校 | 5年生 | かわ川 はら原 咲く凜 | 森林の大切さを知って… | 林野庁長官 今井 敏 |
| 優秀賞 (関東森林管理局長) | 八王子市立七国小学校 | 5年生 | しら白 みず水 の乃あ愛 | 私達・地球のために森林は大切！ | 関東森林管理局長 漆原 勝彦 |
| ✓ | 甲府市立相川小学校 | 5年生 | ない内 とう藤 玲衣 | 森林を守り、育てるために | ✓ |
| ✓ | 八王子市立みなみ野小学校 | 5年生 | はた畠 なか中 和佳芭 | 森林の偉大さ | ✓ |
| ✓ | 甲府市立相川小学校 | 5年生 | もり森 か楓 恋 | 学校林と環境 | ✓ |
| ✓ | 八王子市立七国小学校 | 5年生 | わた渡 なべ邊 さくら子 | 森林の自然の大切さ | ✓ |
| 優秀賞 (東京林業土木協会会長) | 八王子市立みなみ野君田小学校 | 5年生 | う右角 ひ陽 葉 | 森林を守るためにできること | 東京林業土木協会会長 小野 徹 |
| ✓ | 八王子市立七国小学校 | 5年生 | くら倉 なか中 結衣 | これからの緑 | ✓ |
| ✓ | 横浜市立谷本小学校 | 6年生 | こ小林 夏子 | 森を守りたい | ✓ |
| ✓ | 八王子市立七国小学校 | 5年生 | たけ武 ち市 結衣 | 森林教室から学んだこと | ✓ |
| ✓ | 横浜市立谷本小学校 | 6年生 | の野 した下 まな未 | 森林は大切な友達 | ✓ |
| ✓ | 八王子市立七国小学校 | 5年生 | やな柳 い井 誠 | 大切にしよう、森林 | ✓ |
| 努力賞 (東京林業土木協会会長) | 中央区立佃島小学校 | 5年生 | いわ岩 崎純太郎 | こんなにすごい森林を世界からまもれ！ | 東京林業土木協会会長 小野 徹 |
| ✓ | 甲府市立里垣小学校 | 5年生 | おか岡 もと本 一希 | 森林は生き物の宝庫 | ✓ |
| ✓ | 昭島市立拝島第三小学校 | 5年生 | こ小塙 優太 | 森林の大切さ | ✓ |
| ✓ | 横浜市立下田小学校 | 4年生 | しば柴 た七 ほ帆 | 高尾の森林で学んだこと | ✓ |
| ✓ | 八王子市立片倉台小学校 | 5年生 | しも下 だ一葉 | 森林の大切さ | ✓ |
| ✓ | 多摩市立連光寺小学校 | 5年生 | ダライ 洋 | 「森の声が伝えたかったこと」 | ✓ |
| ✓ | 渋谷区立加計塚小学校 | 4年生 | つじ辻 い井 麻里 | 私と生き物と森 | ✓ |
| ✓ | 八王子市立第三小学校 | 5年生 | てしがわら たまき | 森林学習で学んだ大切な事 | ✓ |
| ✓ | 八王子市立みなみ野君田小学校 | 5年生 | ぬか額 がり賀 梨百 | 森林を守るために | ✓ |
| ✓ | 横浜市立榎が丘小学校 | 4年生 | ひ比嘉 まゆか | 大事な森だから | ✓ |
| ✓ | 八王子市立みなみ野小学校 | 5年生 | ふじ藤 い井 里咲 | 表裏 | ✓ |
| ✓ | 横浜市立榎が丘小学校 | 4年生 | ふじ藤 しろ城 あおい | 人と木のつながり | ✓ |
| ✓ | 甲府市立里垣小学校 | 5年生 | ふじ藤 たに谷 こと乃 | 学校林活動を通して知った木のひみつ | ✓ |
| ✓ | ガールスカウト千葉市協議会 | 6年生 | ふし伏 み見 あい愛 | 思い出の草かり | ✓ |
| ✓ | 八王子市立上川口小学校 | 5年生 | ふる古 た田 千桜里 | 森林教室 | ✓ |
| ✓ | 相模女子大学小学部 | 4年生 | みずの水 野 佑莉亜 | 大切な木に感謝 | ✓ |
| ✓ | 相模原市立作の口小学校 | 5年生 | みたらし御手洗 花菜 | 森林を大切に | ✓ |
| ✓ | 多摩市立連光寺小学校 | 5年生 | やま山 もと本 菜々美 | 「歴史をかくとくするために」 | ✓ |

最優秀賞 林野庁長官賞

森林の大切さを知つて……

八王子市立みなみ野君田小学校 五年 川原 咲凜

十月二十七日高尾森林センターへ行きました。わたしは、そこで森林の大切さをたくさん知りました。その中で心に残つたことは、二つありました。

一つ目は、「森林の働き」です。森林の働きは、水を貯え、きれいにする、山がくずれるのを防ぐ、生き物のすみかとなる、いこいの場となる、空気をきれいにする、土を良い土にする仕組み、などの働きがあります。その中でも一番興味を持つたのは、「森林の土」の働きです。森林の土は、ミミズが大きく関係しているそうです。最初は、ミミズが地球にいないと大変なことになる！という意味はさっぱりわかりませんでした。しかし、ミミズは、土にとつても木にとつても大事な役わりをしていました。まず、土の上に落ちた葉やかれ枝、動物のふん、昆虫の死体などはミミズなどの土の中の生き物が食べ、小さくくだかれます。その小さくくだかれた物がび生物によつて分解され、植物の成物に欠かせない養分として土にもどされます。わたしは、あんなにぐによぐによできもち悪いミミズが森林にとつて大事な役わりになつていると知つておどろきました。土の中にいる生き物でも地上にいる生き物でも、何かしら森林の役に立つていてるんだと思いました。地球温だん化は、森林と大きなかかわりがありました。人間がだす二酸化炭素、車、ごみを燃やす時の悪いガスを森林の木が吸収し、酸素を出してくれるのです。わたしは、もしこのまま地球温だん化が進んでしまつたらというビデオを見て、初めて地球温だん化のこわさをしりました。もしも、地球に森林がなくなつてしまつたらと考えると森林は、とても大切なんだと改めて思いました。森林の木がこんなに大事な役わりをしているなんてすごいと思いました。

地球温だん化をなくすために、わたしは、二つのことを考えました。一つ目は、「ごみをへらす」ということです。ペットボトルを買わなく、水とうを持て出かける。必要でない時は、使わない、バックを持ち歩く。わりばしでなく自分のはしを使う。二つ目は、「近い場所に行く時は、車を使わない。」ということです。車は排気ガスを出してしまうのでなるべく、電車や歩きで行くとい

うことを行いたいです。この二つを守つて地球温だん化を防ぎたいです。

わたしは、高尾森林センターへ行つて森林の大切さをたくさん知りました。自分の知らない森林の働きなどがたくさんあつてとても、おどろきました。高尾森林センターで学んだことをこれから的生活に生かして森林を守るために、自分ができることをやつていきたいです。



(川原さん朗読)



林野庁長官賞授与(平野東京事務所長)



表彰式会場

協会関係の今後の予定

| | | |
|------|------------------|------------|
| 3月9日 | 1月24日 | 東京協会第1回理事会 |
| 3月7日 | 2月21日 | 林土連定時総会 |
| 会 | 事会 | 東京協会定時総会 |
| ル表彰式 | 第21回森林は友達作文コンクール | |